

事業名	諸費(技術管理課)	財務コード (事業)	778201
-----	-----------	---------------	--------

細事業名	協議会等会費
------	--------

担当部課室	県土整備 部	技術管理 課	技術基準 担当 (内線)	7159
-------	--------	--------	--------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 H4 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	補助(やまなし魅力ある建設産業推進協議会(CCI山梨)等)						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <th>誰(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>県民</td> <td>公共建設事業の重要性、必要性を理解している</td> <td>魅力ある建設産業の推進</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	県民	公共建設事業の重要性、必要性を理解している	魅力ある建設産業の推進
誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
県民	公共建設事業の重要性、必要性を理解している	魅力ある建設産業の推進					
事業の内容 ※主に 23年度	<p>○やまなし魅力ある建設産業推進協議会</p> <p>①県民の日イベントへの出展(公共事業PRブース、「降雨体験車」乗車コーナー、県土建設写真コンクール入賞作品展示コーナー)</p> <p>②公共事業(建設現場)見学会の開催(1回、21人参加)</p> <p>③建設現場優秀技能者の表彰(14人)</p> <p>※(社)山梨県建設業協会、(社)山梨県建設技術センターと共催</p> <p>平成24年度負担金予算内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県 400千円 ・(社)山梨県建設業協会 400千円 ・(社)山梨県建設技術センター 300千円 計 1,100千円 <p>○建設広報協議会 国土建設事業に関する広報・宣伝等</p>						
根拠法令等	県出納局「会計事務ガイドブック」						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度		23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	
活動指標	①イベント参加数	約80,000人	約80,000人	約80,000人	約80,000人	約80,000人	目標設定の考え方 負担金に応じた事業を展開しており、その参加者の人数を目標値とした。 データの出典等 やまなし魅力ある建設産業推進協議会実績報告書
	②見学会参加数	22人	45人	21人	45人	45人	
	③表彰者数	13名	15名	14名	15名	15名	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%			
成果指標	現場見学会参加者の 意見・感想(アンケートに有意義だったと答えた割合)	100%	100%	100%	100%	100%	目標設定の考え方 現場見学会後のアンケートに「とても有意義だった」「有意義だった」と回答した割合を目標値とした。 データの出典等 やまなし魅力ある建設産業推進協議会実績報告書
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			100.0 %			
決算額、予算額	445		345		450	350	成果指標によらない成果 各イベントを通じて、県民に対し建設業の重要性、必要性が伝わることによって、県民の公共事業に対する意識の高揚や建設業のイメージアップにつながっている。
(千円)のうち一財額	445		345		450	350	
所要時間(直接分)	160 時間		160 時間		160 時間	160 時間	
所要時間(間接分)	時間		時間		時間	0 時間	
所要時間計	160 時間		160 時間		160 時間	160 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,030円×所要時間)	325		325		325	325	

III これまでの事業の見直し・改善状況

平成22年度まで実施していた、実業高校生職業体験学習受講支援事業は見直しを行い、平成23年度から建設業協会が単独で実施することとした。

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること ① 県民の日イベントへの出店 達成率100% ② 公共事業(建設現場)見学会の開催 達成率46.7% ③ 建設現場優秀技能者の表彰 達成率93.3% となっており、見学会の参加数は目標よりやや低いものの、全体的に見るとおおむね目標を達成しており、予定された活動量を上げている。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること 現場見学会のアンケートで有意義だったと答えた割合が100%となるなど、各イベントを通じて、県民に対し建設業の重要性、必要性が伝わることによって、県民の公共事業に対する意識の高揚や建設業のイメージアップにつながっており、意図した成果はほぼ上がっている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目
有	平成23年度に「実業高校生職業体験学習受講支援」事業を、「やまなし魅力ある建設産業推進協議会(CCI山梨)」の事業から切り離し、事業の見直しを行った。また、会議開催費や表彰関係に係る印刷経費等を可能な限り削減することとし、平成25年度当初予算で負担金の削減を図るものとする。	i

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
改善済み	平成24年度に現場見学会の経費(交通費)の見直しを行い、負担金の低減を図った。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。